

すいかを切ってみよう!!

～保育園の畠で実りました～



- *協同性（共通の目的に向かい協力して取組むことを楽しむ）
- *数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚
(文字を読んだり、書いたりたりする)
- *自然との関わり・生命尊重（探求心を持って関わる）
- *豊かな感性と表現（作りたいものをイメージしてつくる）

スイカを食べた後「スイカの種どうする?」の言葉に「すいかの種を植えたいなあ~」「種入れをつくろう」「紙に「すいかのたね」と書いてハサミで切ってみんなにわかるようにしよう」と次々にイメージを膨らませていました。

本をみながら『すいかのたねいれ』の『すいかのた』までを交代で書きましたが「ね」の字がわからず「ね」の字のある本をさがしにいきました。「次〇〇ちゃんだよ」「えっ~かけない」という友だちに指で示しながら「縦にまっすぐかいて、次に横に少しちょんとしてぐるってまるを書く」そして・・・『すいかのたね』の文字が完成したことを一緒に喜び合っていました。

今回「すいかを切る」ことから始まりましたが、生活や遊びの中から文字の必要性に気づき、友だちと伝え合い、一つの物を作りあげていました。

